

2024年10月30日

株式会社パスコ

(報道発表)

「宝の島・天草メタバース活用実証プロジェクト」を実施 - メタバース技術を活用した地域振興のビジネス展開へ -

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）は、熊本県天草市、京都大学経営管理大学院、株式会社アイクリップ（東京都渋谷区、以下：アイクリップ）、株式会社 TMJ（東京都新宿区、以下：TMJ）と共同で、メタバース技術を活用した地域活性化や観光事業の支援をめざす実証を実施しました。

本実証は、天草市の観光振興の一環で、「宝の島・天草メタバース活用実証プロジェクト」として実施したものです。実証では、メタバースを活用した地域の文化財の正確な記録保存、地域活性化、新たな観光プログラムの提供が可能であることを検証できました。また、訪問者に対するサポートアバターにより、より良い観光体験の提供が可能であることが実証できました。

今後パスコは、本実証を活かし、地域振興のために自治体への提案や民間との共創を視野に入れたビジネスを展開していく予定です。

■実証の内容

有形文化財や無形文化財をデジタル化し、メタバース技術により仮想空間で体験できる環境を提供することで、地域活性化と観光事業支援、地域の魅力発信の方法などを実証しました。

1) 歴史、文化資産の正確な記録保存

有形文化財： 保存のため現実世界では通行することができない国の重要文化財である「祇園橋」をレーザー計測などの空間情報技術で正確に記録し、3次元モデルをメタバース空間に再現

無形文化財：“牛深ハイヤ踊り”の踊り手をモーションキャプチャやモーションスーツで計測し、アバターでリアルに再現。記録動画を作成するほか“牛深ハイヤ踊り”の体験空間を提供

2) 地域活性化のためのサポート検証

行政・民間サービス支援として、サポートアバターを活用した訪問者への案内や質問対応、地場産業・企業紹介等の有効性など、訪問者に寄り添った環境を構築し検証しました。

3) 新たな観光プログラム、体験型ツーリズムの検証

仮想空間でリアルな祇園橋の3次元モデルを再現し、メタバース上で体験いただくことにより、ふるさと納税やクラウドファンディングで修復支援に寄与できないかを検証しました。



メタバース空間上で祇園橋を体験

イベント、ゲームなど市民交流の場や、アバターを操作して上空から天草の観光地を確認できる空間を提供するなど、メタバースを楽しめる工夫も行っています。



天空に浮かぶ天草の地図を体験

■実証期間と役割

【実証期間】 2023年3月1日（水）～2024年7月31日（水）

【各社の役割】	パスコ	：全体メタバース空間の構築（コーディネート）、3次元計測
	熊本県天草市	：実証フィールド提供、職員による体験検証と評価
	小林 潔司氏 ^(※)	：メタバース空間の構築提言・リアル3Dデータ活用提言
	※ 京都大学名誉教授・京都大学経営管理大学院 特任教授（計画・マネジメント論）	
	アイクリップ	：メタバース空間の構築・運用
	TMJ	：サポートアバターの運用（BPO検証）

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

（報道機関） 広報部

www.pasco.co.jp

press@pasco.co.jp

プレスリリースの内容は発表時のものです